

事例3

< 事例概要 >

①30歳代前半/ 初産婦/ 自然妊娠。

②妊娠 30 週、血圧 130/80 mmHg台に上昇。

③妊娠 31 週に下腹部痛および性器出血を認め入院。常位胎盤早期剥離、子宮内胎児死亡の診断。入院時の血液検査でフィブリノゲン値 70 mg/dL 以下、産科DIC スコア 11 点。血圧高値のため、降圧薬と子癇発症抑制薬を点滴投与。児娩出前より新鮮凍結血漿を投与。メトロイリンテルを挿入し、入院から約 5 時間後に経膣分娩で児娩出、出血量 500 mL以上。児娩出から約 20 分後、出血量計 1,000 mL以上、心拍数 70～100 回/分、血圧 120/80～90 mmHg で推移。児娩出から約 2 時間後、血液検査でフィブリノゲン値 50 mg/dL 以下、産科DIC スコア 13 点。児娩出から約 2 時間半後、意識レベル低下し、母体搬送依頼。搬送までの出血量は計 2,000 mL以上。搬送先での情報不明。児娩出から約 8 時間後に死亡。

④常位胎盤早期剥離。

⑤解剖有、死亡時画像診断（Ai）無。